

## 海田東小学校本館建替えに関する第1回保護者説明会 議事要旨

日 時：令和6年4月26日（金）19：00～19：45

場 所：町民センター3階ホール

出席者数：10名

事務局：海田町教育委員会事務局職員

### 議事要旨

（以下 ○：出席者からの発言，●：事務局の発言）

#### 1 教育長挨拶

- この度の校舎の建替えについては、老朽化対策及び安全対策、教育環境の質の向上を目的としている。本事業については、保護者の皆様と歩調を合わせて情報を共有したのち、御理解をいただきながら進めていきたいと考えている。本日の説明会については、今後複数年掛けて進めていく事業の大枠を説明させていただくものとなっており、現在の進捗状況及び今後の計画について説明を行う。先日実施した保護者や教職員を対象としたアンケート結果の報告や国や県が目指している新しい学校の学習環境のイメージについても共有をさせていただく。

#### 1 基本構想の策定主体について

- 海田東小学校本館建替基本構想の策定にあたり、町教育委員会学校教育課（校舎建替推進チーム）を事務局として、海田中学校区学校運営協議会内に設置した海田東小学校校舎建替検討部会と、協議等を進めながら策定していく。

#### 2 これまでの主な検討状況と今後のスケジュールについて

- 令和6年1月に第1回検討部会、2月に町内小学校の教職員に対して、基本構想（骨子案）について、説明した。その後、同じく2月に保護者の皆様と教職員向けに海田東小学校の建替えに関するアンケート調査を実施した。

本日の保護者説明会において骨子案とアンケート結果の報告を行い、素案については、5月から6月にかけて第2回検討部会、保護者説明会の順で説明を行う。最終案については、7月から9月にかけて第3回検討部会、保護者の皆様の順に説明を行い、基本構想を策定するものとする。

#### 2 「海田東小学校本館建替基本構想骨子（案）」について

- 海田東小学校本館建替基本構想骨子（案）について説明する。

海田東小学校本館の概要として、昭和39年に建築され、その後昭和42年に増築されており、延床面積は2,973㎡となっている。

令和4年度に実施した本館老朽化詳細調査において、昭和39年建築部分、昭和42年建築部分ともに耐力度点数が4,500点以下と診断されている。

構造部材の耐震補強工事を実施しているため、倒壊等の危険性は低いとされているが、特にコンクリートにおいては、鉄筋錆に伴う剥落が各所で確認され、劣化が進んでいると判断された。このような状況から、今後、将来にわたって長く使用を考える場合は、長寿命化改良工事を行うよりも、建替のほうがより効率的であると結論づけている。

基本構想策定の前提条件については、海田町の位置・概要や海田東地区の現状と課題について記載し、海田東小学校周辺の町づくりの方向性については、上位計画である「第5次海田町総合計画」における海田東地区の目指す姿等について記載する。

海田東小学校の沿革・概要では、海田東小学校の歴史や整備履歴等について記載し、海田東小学校学校経営計画については、経営理念や目指す学校、学校教育目標等について記載する。

児童数・学級数の将来見通しについては、児童数については、令和7年度をピークに減少するものの、学級数については、法改正により1学級あたりの上限の人数が40人から35人に変更されたため、22学級が続く見通しとなっており、横ばいの状況となるため、この学校規模を想定することとなる。

学校職員、保護者からの聞き取りにより校舎建替に係る要望については、海田東小学校の保護者の皆様と教職員向けに実施した海田東小学校の建替えに関するアンケート調査の結果を記載する。

基本理念と整備コンセプトについては、国が示す教育振興計画、第5次海田町総合計画等を踏まえ、建替えに係る基本理念・整備コンセプトを定める。

建替えの整備方針については、校舎建替に係る要望及び建替に係る基本理念・整備コンセプト等を踏まえ、整備方針を定める。

建替に係るスケジュールについては、基本構想の策定を令和6年9月までとし、仮設校舎の必要性の検討状況により項目が追加される可能性があるが、令和11年度の供用開始をめざし、進めていく予定である。

### 3 海田東小学校建替えに関するアンケート調査の結果報告について

- 本アンケート調査は海田東小学校の保護者の皆様、町内全小学校の教職員の校舎等に関する要望等を把握し、基本構想の策定にあたっての参考とするために実施した。

調査期間：令和6年2月22日（木）～令和6年2月29日（木）

対象者：海田東小学校保護者（1年～6年の長子数） 403名

町内全小学校の教職員 87名

アンケート回収率は保護者の皆様が89%、教職員が100%となっている。多くの皆様に御協力いただきましたことに感謝申し上げます。

建替えする際に最も大切にしたい項目についての回答結果については、多かったものから順に、「防災性・防犯性など、安全・安心な教育環境の確保」、「健康的で快適な学習環境の整備」、「一人1台端末環境等に対応したゆとりある教室等の整備」、「多目的スペースの活用による多様な楽手活動へ柔軟に対応できる施設づくり」、「子どもたちの居場所となる温かみのあるリビング空間づくり」となった。

建替える際に配慮してほしい教室等の回答結果については、「教室」や「トイレ」の割合が突出して多く、続いて、「図書室」、「保健室」、「昇降口」という結果であった。

自由記述については、「地震や災害に強い学校にしてほしい」、「子どもたちが楽しく楽手できる、わくわくできる学校にしてほしい」といった建替え後の校舎に対するイメージ・思いといったものや、建替え工事期間中の子どもの安全の確保に対する要望などをいただいた。

これらの結果については、今後の基本構想素案等にも取り込んでいく。

#### 4 竹野内町長と海田東小学校児童のランチミーティングについて

- 町長が海田東小学校を訪問し、代表児童と給食を共にしながら、新校舎に盛り込む設備や機能について話し合いを行った。

児童の主な発言としては、「自由に使える多目的室が欲しい」、「雨天時でも、室内で遊びを楽しめる場が欲しい」といった教室空間に対する要望や、「冬は水道水を温水にしてほしい」といった学校生活の中での使用感を踏まえた要望があった。

#### 5 新しい時代の学びを実現する学校施設のイメージについて

- アンケート調査の結果にあった保護者の皆様や教職員が大切にしたいと考えている点やランチミーティングで児童が発言した思いや考えの多くは、国においても「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」の方向性と合致している。

例えば、多様な学習空間を展開できる教室空間のイメージとして、一人1台端末を活用した学習に対応した教室空間や、教室と隣接する多目的スペースの一体的な活用が示されている。

また、学校図書館には、読書の機能に加え、学習や情報センターの機能を持たせることで、多様な学びに対応した空間・機能を有するラーニング commons としての活用ということも示されている。

その他にも、学校が子どもたちにとって豊かな学習・生活の場となるように、木材を活用した温かみのあるリビングのような空間の整備や、アンケート調査の結果において、回答割合の多かった防犯性・防災性についても、国において、地域の避難所として防災機能を強化することが示されている。

#### 6 新しい時代の学びを実現する学校施設の先進事例について

- 新しい時代の学びを実現する学校施設の具体的な事例として、本町職員が視察した学校を例にして紹介する。

普通教室・オープンスペースの具体的な事例としては、教室と廊下の上に可動式間仕切りを設置し、授業の形態に応じて自在に教室空間を設定できるようにしていた。

また、ホールについては、可動式のスクリーンを整備し、スクリーンに映像を投影したり、階段を活用して発表会を行ったりするなど、多様な教育活動で活用されていた。

図書室の整備では、和室とつなげて読み聞かせや読書に利用する場として整備したり、

カーペットやソファを配置したりして子どもたちがリラックスして読書を楽しむ環境が整備されていた。

特別教室においては、理科室から直接外に出るテラスを設置し、観察学習ができるよう工夫されていた。また、特別教室前の廊下に児童の作品や教材を展示するスペースを設置し、学習への興味関心を育む環境が整備されていた。

子どもたちが健康的かつ快適に学習できるよう、階段の踊り場に大きな窓を設けて自然光を多く取り入れることで、校舎内でも明るい空間を創り出していた。

また、玄関など人の出入りが多い場所には、木材を使用し、温かみのある空間となるよう工夫されていた。

アンケート調査で教室に続き2番目に回答割合が多い項目であったトイレについては、床をドライ化し、すべて洋式化することで清潔感のある整備となっていた。

## 7 質疑・応答

- 昭和39年建築と昭和42年建築はそれぞれ本館のどこか。
- おおよそ正面玄関を境に建築年度が分かれており、正門側が昭和39年、奥側が昭和42年建築となっている。
- 建替工事の間に通っている児童はどこで学習するのか。
- 建替え方によって大きく2つの方法がある。1つ目は現在本館が建っている場所に新しい校舎を建設するもので、この場合は仮設校舎で学習することとなる。2つ目は校庭の西側など今とは違う場所に新しい校舎を建設する方法で、この場合は新しい校舎が建つまで今の校舎で過ごすこととなる。
- 仮設校舎を建設せず、ほかの小学校へ登校するということはないのか。
- 現在、海田東小学校に在籍している児童については、このまま海田東小学校で学習することを想定している。ただし、工事に伴いグラウンドの利用に制約が出てくるので、運動会などの行事を他の学校で行うといった場面もあると考えている。
- 新館は建替えないのか。
- 新館についても早い時期に建替え等を行う校舎であるという認識はある。  
今後、新館・給食室・グラウンド・体育館等を含めたバランスも見ながら計画を進めていく中で、事業費等も踏まえて総合的に判断していくこととなる。現時点では、本館の機能を持った校舎の建替えを行う、ということについて、お伝えできる段階である。
- 本館のみの建替えとなった場合、新館で学ぶ児童と本館で学ぶ児童に差が出ることに  
ついてはどう考えているのか。
- 校舎の差による児童への影響についてはこちらも注視している。現状、新館もリフレッシュ工事等を行っており、トイレ等についてもきれいに整備された状態であるということも踏まえて、今後総合的に判断をしていく。
- 本館建替えの基本構想についてだけではなく、校舎建替え全体に係る御意見等についても、忌憚なくいただきたい。
- 建替えが完了するまでの安全についてはいかがか。地震や豪雨での瀬野川の氾濫など

にはどう対応するのか。

- 外壁等については、今後も徐々に劣化していくという認識がある。現時点においても、日常点検を行い、落ちる危険性がある部分については、あらかじめ落とすうえで、鉄筋の防錆処理を行うといった処置を行っている。子どもの安全が第一であるため、点検・修繕については、今後の5年間についても継続的に行っていく。  
災害等については、避難訓練等を引き続き行っていく。
- 現状、普段は屋上に入りにくいと思うが、災害時には出入りできるのか。
- 基本的には3階への垂直避難が求められる地区であるため、そのように対応する。ただし、緊急時には屋上へ上がることも可能である。
- 仮設校舎には特別教室等の機能も入るのか。
- 子どもが生活する中で必要な機能については仮設校舎にも整備する。仮設校舎になることで学習をとめることはない。
- 今後については、6月下旬ころをめぐりに基本構想の素案について保護者説明会を行う。詳細な日程については、学校を通じて連絡する。